

すようにしたいと思つていたのです。全国大会の優勝旗は大感激旗、地方のは小感激旗といつて作りた
と思ひながら、とうとう経済的に微力なため、わずか数県だけに終わつて居るのはまことに残念です。

「！」の標を英語では感動標といつていますが、これを私が「感激！ 感激！！ 感極まる！」といつ
ていろいろの場合によく使つていたのです。あちこちの学校などで講演するとき、最後にウイルソン氏の
似顔絵を速記文字で書き、最後に「ああ、感極まった」といつて耳のところはこの標をつけると、聞いて
いた全校の学生達が熱狂して喜ぶのです。それでいつの間にか、これが私の旗印のことばになつてしまつ
たのです。私の運動を感激運動とか、感激宗とかいうようになり、私のことを感激先生、私のカバンを感
激カバンなどというようになったのです。

感激ということばは誠によいことばです。石と石と相打つて火花の散るところ、これ感激です。こんに
やくとこんにやくと相打つても火花は散らない。感極まるということばはない。感激はないのです。親に孝
養を尽くす。これ感激です。愛国心を燃やす、これ感激です。学生が学生の本分を守らなかつたら感激な
しです。友愛の情、これ感激です。熱心に勉強する姿は感激です。職場で熱心に働く姿は感激です。競技
会で優勝する、これ感激です。何事でも真剣になつて取り組む、これ感激です。人に親切を施す、これ感
激です。老人や幼い子供に席を譲つてやる、これ感激です。その反対に眠つた風をしたり、知らん顔をし
たりして席を譲らないのはきたないです。感激なしです。美しい心は感激です。とにかく感激ということ